

JOYO BANK NEWS LETTER

2026年1月26日

アップサイクルモビリティサービス「Choice!」の行用車導入について ～廃車の再生利用による脱炭素・循環型社会の実現に向けた取り組み～

常陽銀行(頭取 秋野 哲也)は、このたび、カーレポ株式会社(代表取締役 赤須 洋一郎以下、「同社」)のアップサイクルモビリティサービス「Choice!」(以下、本サービス)を利用した行用車を導入しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

本サービスは、通常の流通から外れた車両を同社の高度な整備技術によって再生し、資源を最大限に活用することにより、環境負荷の低減と持続可能な循環型社会の実現を目指すものです。

当行およびめぶきフィナンシャルグループは、「地域とともにあゆむ価値創造グループ」を長期ビジョンの目指す姿として掲げ、革新的なビジネスモデルの支援を通じて社会課題の解決に取り組むとともに、地域社会の持続的成長に貢献してまいります。

記

1. 導入目的

本サービスは「第8回めぶきビジネスアワード」において、その革新性、創造性および社会貢献度の高さから、奨励賞を受賞したビジネスプラン※であり、当行は本サービスの導入等を通じて、プランの事業化および成長を支援してまいります。また、限りある資源を再生して活用する本サービスは、3Rの推進やCO₂排出量削減につながり、行用車としての利用を通じ、環境負荷の低減に取り組んでまいります。

※<参考プレスリリース> [2025年1月20日 「第8回めぶきビジネスアワード」受賞プランの決定および表彰式の開催について](#)

2. 導入対象および導入日

常陽銀行菅谷支店の行用車のうち1台 (導入日: 2026年1月23日)

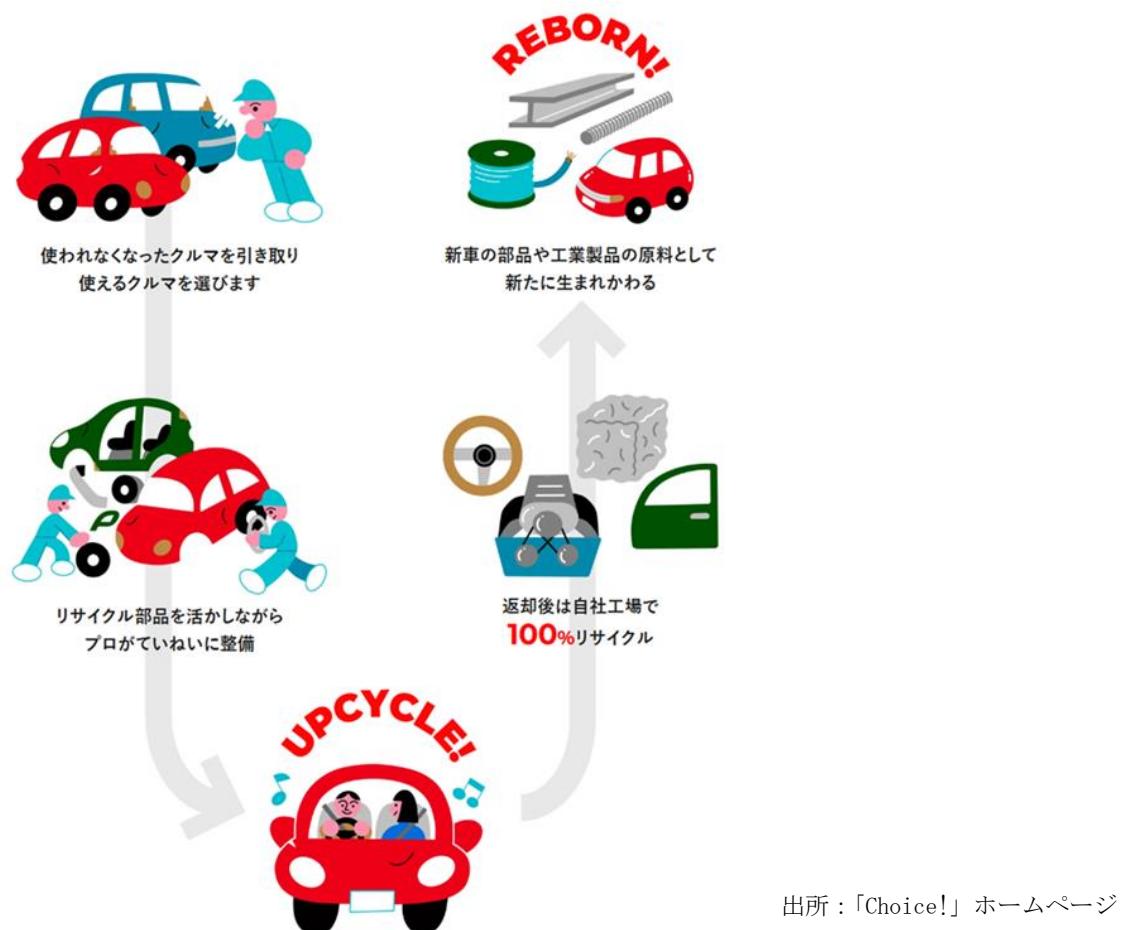


導入した行用車

(参考) 本サービスの特徴

- ・通常は廃車や解体となる車両のうち、まだ使用可能なものを選定し、同社の高度な整備技術により再整備を行います。安全性を十分に確保した上で、新たな価値を付与した「再生利用車」として社会に再び送り出すことにより、車両のアップサイクルを実現しています。
- ・車両の延命（リデュース・リユース）や最終的な資源回収（リサイクル）の効率化により、資源の多くを国内で循環させることが可能となります。さらに、本サービスで活用された車両は、最終的に高炉よりも CO₂ 排出量が少ない電炉でリサイクルされるため、新車の製造から廃車までのライフサイクル全体を通じて CO₂ 排出量の削減につながります。

■ 「Choice!」 イメージ図



<参考>カーレポ株式会社の概要

企 業 名	カーレポ株式会社
所 在 地	茨城県水戸市桜川一丁目 8 番 29 号
代 表 取 締 役	赤須 洋一郎
事 業 内 容	自動車資源循環業、自動車リサイクル業、新車整備・保管業等
設 立 年 月 日	1991年 11月 22日
U R L	同社ホームページ https://www.carepo.co.jp/ 「Choice!」ホームページ https://choice.carepo.co.jp/

以 上